



333 East 47th Street  
New York, NY 10017  
[japansociety.org](http://japansociety.org)

FOR IMMEDIATE RELEASE

<プレス・リリース>

配信日 2022 年 4 月 19 日

プレス担当 :

マリカ絵美 (EMarica@japansociety.org)

アリソン・ロッドマン (ARodman@japansociety.org)

ジャパン・ソサエティー (JS)  
舞台公演部 2021-22 年度シーズン

**コンサート『OKI：アイヌの音楽』**

OKI: Music of the Ainu

**2022 年 5 月 6 日 (金)**

**午後 7 時 30 分開演 1 回公演**

於：ジャパン・ソサエティー内劇場

(333 East 47<sup>th</sup> Street, New York, NY 10017)



@Maciej Komorowski

ジャパン・ソサエティー（JS）舞台公演部は、5月6日（金）に『OKI：アイヌの音楽』のコンサートを上演します。樺太アイヌの弦楽器・トンコリを基調とした独特な音楽でグローバルに活躍するミュージシャン、OKI。自らのルーツをたどり、アイヌの音楽を掘り起こし伝承しつつ、レゲエ、ダブ、R&B、ジャズ、ワールドミュージックなど世界のルーツ音楽を織り交ぜた新しい音楽表現に挑戦し続けるOKIのニューヨーク・ライブは、2003年以来の19年ぶりとなります。今年1月に英国のレーベル Mais Um Discos からリリースされた最新アルバムで、OKI初のベスト盤となる『月明りのトンコリ（Tonkori in the Moonlight）』に収められたソロ作品やバンドメンバーとのコラボ楽曲などを披露します。

本コンサートは、JSのプロデュースとオーガナイズによる米国3都市ツアー（ロサンゼルス、ヒューストン、ニューヨーク）の一環です。本ツアーには、OKI（トンコリ・ボーカル）に加え、サポートメンバーとして、Rekpo（ボーカル・トンコリ・ダンス）、中條卓<sup>たかし</sup>（ベース）、内田直之（サウンド・エンジニア）、加納マナウが出演します。

また、JS映画部では、本コンサートの翌日5月7日（土）に、OKIが「アイヌのミュージシャン」の役で出演している映画『アイヌモシリ（Ainu Mosir）』の上映会を実施します。上映後はOKIが登壇、観客とのQ&Aセッションを設けています。こちらの詳細は別途、映画部のプレスリリースをご参照ください。

### 【リストイング・インフォメーション】

コンサート『OKI：アイヌの音楽』

**OKI: Music of the Ainu**

日時：2022年5月6日（金）午後7時30分（終演後「MetLife Meet-the-Artists」レセプションあり）

チケット料金：一般\$30／JS会員\$25

詳細＆チケット購入：<https://www.japansociety.org/arts-and-culture/performances/oki-music-ainu>

ボックスオフィス：212-715-1258

月曜～金曜 午前9時～午後5時

または JS ウェブサイト [www.japansociety.org](http://www.japansociety.org)

会場：ジャパン・ソサエティー内、劇場（333 East 47<sup>th</sup> Street, New York, NY 10017）

### 【OKI プロフィール】

1957 年生まれ。本名は加納沖。東京藝術大学美術学部卒業、ニューヨーク大学映画科 intensive film course 修了。平成 20 年北海道文化奨励賞受賞。トンコリ伝承者、ベーシスト、彫刻家、ペインター。これまでにソロ、バンド、ダブミックス版などを含む合計 20 枚以上のオリジナルアルバムを発表。アルバム『トンコリ』（2005 年）では、昭和 20 年代から 30 年代にかけて研究者などが収集した西平ウメ、白川クルパルマハ、藤山ハル（エソホランケマハ）などの演奏音源を元に、トンコリ奏者として古典に挑戦している。ファーストアルバム『Kamuy Kor Nupurpe』（1996 年）から最新作まで、アイヌ語の歌詞や語りが入っており、現代に伝わる伝承歌のほか、葛野辰次郎エカシと一緒に作ったアイヌ語のオリジナル曲等を発表している。また『Sakhalin Rock』（2010 年）収録の『Osoro Omap』と『Tawki』では、拠点としている旭川のアイヌ語教室の子供達が作ったユニークなアイヌ語歌詞が付いている。古典や文化的アイデンティティを大切にすると同時に、『OKI DUB AINU BAND』（2006 年）や、『Sakhalin Rock』（2010 年）では、ブルース、レゲエ、ダブなどがミックスされた最先端の音楽表現が実現している。またサードアルバムの『No One's Land』（2002 年）では、ロシアの先住民族チュクチのシンガーや、東ティモールの詩人などをゲストアーティストに迎え、1997 年に自身も出席した国連先住民作業部会の音声がミックスに使用されている。

OKI が主導するプロジェクトとして結成された Oki Dub Ainu Band は、世界最大規模のワールドミュージック・フェスティバルとして知られる WOMAD（2004 年オーストラリア、2006 年イギリス、2007 年シンガポール、2017 年アデレード）や、レインフォレスト・ワールド・ミュージック・フェスティバル（2019 年マレーシア）に招聘され、日本国内でも数々の音楽フェスティバルに参加している。また、プロデューサーとして音楽レーベル、チカルスタジオ（Chikar Studio）を主宰。アイヌの伝統歌を再現・継承する女性ボーカルユニット、マレウレウ（Marewrew）をプロデュースする他、ムックル（口琴）とウポポの名手として知られる安東ウメ子（1932-2004）も同レーベルのアーティストとして OKI のセカンドアルバム『HANKAPUY』（1999 年）から参加している。また 2019 年には、Marewrew の『mikemike nociw』と奄美とアイヌの歌合戦の模様を収めた『Amamiaynu』をプロデュースした。これまでチカルスタジオが制作したアルバムは 23 作にのぼる。2022 年 1 月には英国のレーベル Mais um discos より OKI 初のベスト盤となる LP/CD 『月明りのトンコリ（Tonkori in the Moonlight）』がリリースされた。

### 【舞台公演部について】

JS 舞台公演部は、1953 年の創部以来、雅楽、能、歌舞伎、人形劇、三味線や落語などの古典芸能から最先端の現代劇、実験音楽やポップ・ミュージック、コンテンポラリー・ダンスまで、あらゆるジャンルの舞台公演を企画し、当館内劇場にて主催上演し、これまで 1000 種に近いプログラムを米国の観客に紹介してきました。また、招聘したアーティストや団体のために巡回公演（ツアー）をプロデュースすることで、ニューヨークを越えた北米全土に対して日本の舞台芸術を紹介する役割をも果たしています。日本の優秀な若手アーティストにとっては国際的キャリアの登竜門として、また米国人アーティストには新作委嘱や交換レジデンシーなどを通じてより深い日本理解の機会を与える貴重な機関として、日米の舞台芸術界に比類のない貢献をしています。

### 【JSについて】

JS は 1907 年の創立以来、日本の芸術、文化、ビジネス、社会をニューヨーク及び世界の人々とつなぐ全米随一の規模を誇る日米交流団体であり、芸術と文化、公共政策、ビジネス、サステナビリティ、教育における革新的なプログラムを通じて、ニューヨーク市歴史的保存建築に指定されている JS 本部ビルからだけでなく、オンライン形式でも発信しています。JS では文化的な「きずな（絆）」を深めるために、革新的な次世代クリエーターの支援、日米相互理解の促進、日本の多様性を深く理解しようと願う世界の人々にとって信頼できる案内役となることを目指しています。拠点とするニューヨーク市でのつながりを一層強化することに加え、米国内外での新たな架け橋の構築にも取り組んでいます。詳細は [www.japansociety.org](http://www.japansociety.org) をご覧ください。

JS は今年度、ニューヨークのランドマークである本館設立 50 周年の記念して新しいロゴマークを導入いたしました。JS が文化や人種、時を超えてつながりを作っていく基盤となることを願い、「JS」の文字の重なりと線と形の連結を用いて、絆というコンセプトを打ち出しています。

### 公式 SNS アカウント：

Facebook : [facebook.com/japansociety](https://facebook.com/japansociety)

Instagram : [@japansociety](https://www.instagram.com/@japansociety) and #japansociety

Twitter : [@japansociety](https://twitter.com/@japansociety) (英語) / [@js\\_desu](https://twitter.com/@js_desu) (日本語)

その他、詳しい情報は弊会ウェブサイト <http://www.japansociety.org> をご参照ください。

住所 333 East 47<sup>th</sup> Street (1Avenue と 2 Avenue 間), New York, NY 10017

最寄駅は地下鉄、4/5/6 番ライン、7 番ラインのグランドセントラル駅、あるいは E か M ラインのレキシントン街・53 丁目駅。代表電話 212-832-1155 / ウェブサイト [www.japansociety.org](http://www.japansociety.org)

\*\*\*

## 取材申し込み：

上記公演の取材をご希望の方は、事前に必ずプレス担当：マリカ／ロッドマンまでEメールで（[EMarica@japansociety.org](mailto:EMarica@japansociety.org) / [ARodman@japansociety.org](mailto:ARodman@japansociety.org)）お申し込みください。尚、プレス席には限りがございます。満席の場合はご容赦ください。

\*\*\*

「OKI: Music of the Ainu」は、  
以下の支援・後援をいただいている。

*OKI: Music of the Ainu is supported, in part, by the Agency for Cultural Affairs, Government of Japan through the Japan Arts Council, and Doug and Teresa Peterson.*

2021-2022 年度の JS 舞台公演部は、  
以下の財団・基金・企業および個人より支援・後援をいただいている。

### ***Support for 2021-2022 Performing Arts Season***

*Lead Sponsor: MetLife Foundation. The season is made possible, in part, by public funds from the New York City Department of Cultural Affairs in partnership with the City Council and the New York State Council on the Arts with the support of the Office of the Governor and the New York State Legislature. Major support is generously provided by the Howard Gilman Foundation, Doug and Teresa Peterson, and The Fan Fox and Leslie R. Samuels Foundation, Inc., with endowment support from the Lila Wallace-Reader's Digest Endowment Fund and the Endowment for the Performing Arts, established with a leadership gift from the Doris Duke Charitable Foundation. Additional support is provided by the Royal Little Family Foundation, Helen and Kenneth A. Cowin, Dr. and Mrs. Carl F. Taeusch II, Dr. Jeanette C. Takamura, Estate of Alan M. Suhonen, Sarah Billinghamur Solomon and Howard Solomon, Nancy and Joe Walker, Dr. John K. Gillespie, Paula S. Lawrence, Dr. Stephen and Mrs. Michiko Levine, Marjorie Neuwirth, Hiroko Onoyama, Lyndley and Samuel Schwab, and Nora and David Tezanos. Transportation assistance is provided by All Nippon Airways Co., Ltd. Yamaha is the official piano provider of Japan Society. MetLife Meet-the-Artists Reception is provided by MetLife Foundation.*